

自然を楽しむ

サハリンアクティビティ

手付かずの自然がたくさん残るサハリンならではの自然を舞台にしたアクティビティの体験や、日本ではなかなか経験できないアウトドアの醍醐味を味わいます。

モータースポーツ

MOTOR SPORTS

サハリンでは、主要道路（ユジノサハリンスク～コルサコフ、ユジノサハリンスク～ホルムスク間など）は、一応、舗装されていますが、少し脇道に入ると未舗装のことが多く、砂利道や砂や時には大きな凹凸や水溜り・泥濘のあるダートを走行することになります。サーキットを走るモータースポーツとは違い、ダートや悪路の走破を醍醐味とするクロスカントリーが主体です。

サハリンを南北に縦断した場合のモデルコースです。
日本列島のように細長い島を東海岸沿いや西海岸沿いを通り縦断します。
過酷なダートの走破は必須となりますが、サハリンの豊かな自然、田園や丘陵地帯でのどかなツーリングを楽しむこともできます。

このコースは距離にして片道 2000km を越えますので、右の地図の全ての地域を廻るには、サハリンでの滞在が一週間以上は必要となりますので、サハリン最北部までは北上せず、途中まで行って復路に向かうのが一般的です。

稚内からフェリーに車輛を載せて乗船し、まずはサハリンの海の玄関口・コルサコフ（大泊）を目指します。（現在フェリーは運航停止中）

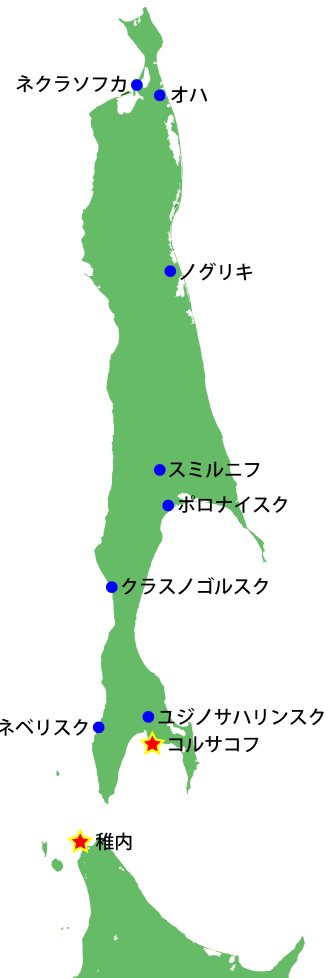
フェリーの乗船時間は約 5 時間半程度かかるので、初日はコルサコフ（大泊）からユジノサハリンスク（豊原）へ移動し 1 泊。2 日目から本格的にスタートします。

ユジノサハリンスクから西へ日本海側にあるネベリスク（本斗）、クラスノゴルスク（珍内）から東へオホーツク海のテルペニア湾（多来加湾）に面したポロナイスク（敷香）、内陸部に北上したところにあるスミルニフ（気屯）、ここまではサハリン南部（北緯 50 度線の南）。

北上して再びオホーツク海に面した町ノグリキ、サハリン北部東側のオハ、その近郊にある村・ネクラソフカ。最北部のシュミット半島まで行くと、さらに 150km 程度進むことになります。

<注意事項>

- ・サハリンでのバイク走行は市街地や都市間問わず非常に稀なため、車輛運転者は一般道を想定しておりません。バイクによる走行には細心の注意が必要となります。
- ・都市間移動の際は、明るい日中のうちに移動を終えるように計画的に行動しましょう。
- ・日本とは道路状況、道路環境、道路法規など多々違いがございますので、専門の旅行業者等にご相談・ご確認ください。



手付かずの自然の多いサハリンでは、釣りを楽しめるところが多数あります。主に鮭鱒類が釣れることが多く、カラフトマス、サクラマス、アメマス、イワナ、イトウなどが釣れます。

釣り場によっては、釣りポイントに行くのに許可が必要だったり、入漁料を払って決められたエリア内で釣りをするとところがあったりと日本とは違う規制があったりしますので、ガイド同行で行くのが基本です。

市街地から離れているところが多いので、車で行くのを前提に、サハリン南部の主な釣りポイントの一部を簡単にご紹介します。

ユジノサハリンスク、コルサコフ方面

【トナイチャ湖】

面積は日本の霞ヶ浦とほぼ同じ広さの湖。コルサコフの北東、ユジノサハリンスクから南東へ車で約 40～50 分の場所にあり、イトウ、アメマスなどの魚が釣れます。湖畔には宿泊に使えるサナトリウムがあります。夏季は遊覧船が周遊し、市民がテントを持ち込んで野外パーティーを楽しんだりします。

10月中旬頃からは 100 羽以上の白鳥が飛来する姿を見ることができますし、「マリモ」も観察できます。

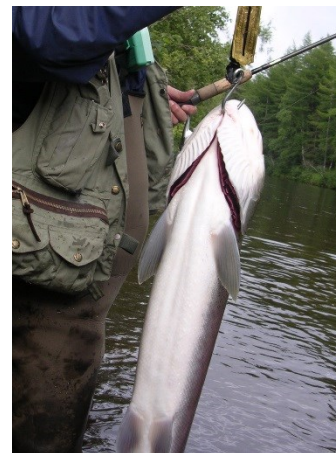
【チョープロエ湖】

ユジノサハリンスクからコルサコフ方面へ車で約 1 時間。北海シマエビ、ナマコなどが採れます

【ブッセイ湖】

コルサコフから東へ車で 1 時間ほどにある湖畔でキャンプが楽しめる湖です。

牡蠣、ホタテ、北海シマエビ、ナマコ、ツブ貝が採れます。



アニワ地区

ユジノサハリンスクより車で約 2 時間、アニワに流れるリュートガ川、その南側にあるタラナイを流れるタラナイ川では、サクラマス、カラフトマス、アメマスなどが対象魚となります。9 月頃は産卵の時期で鮭が溯上します。サクラマス釣りは規制があるので注意が必要です。

ヴズモーリエ

ヴズモーリエ郊外を流れる川では、秋になるとカラフトマス、イワナ、エソイワナ、アメマスなどがたくさん釣れますが、そこに行くには漁業コンビナートで許可が必要となります。

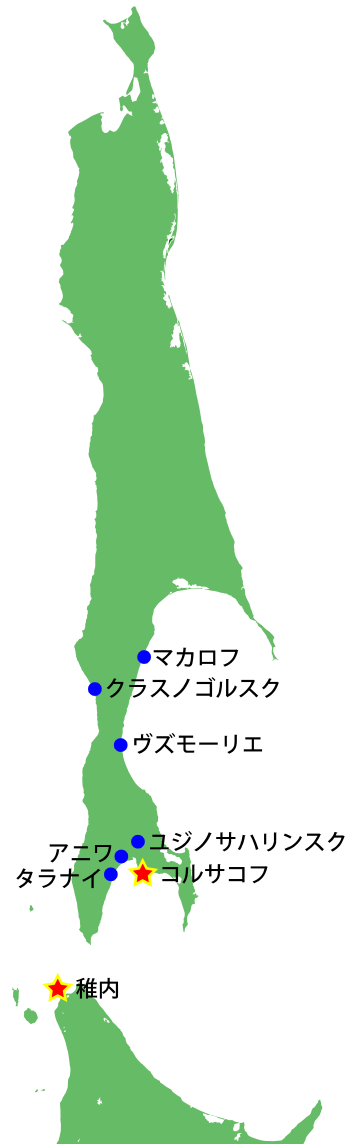
クラスノゴルスク

【アインスコエ湖】

ユジノサハリンスクから北へ約 200km、車で約 3 時間の西海岸側。周囲 44km、最高水深は約 4.5m の比較的浅い湖。湖底は泥地で藻が多いことからイトウの繁殖地となっており、日本の釣りツアーでもお馴染みの場所です。湖からの支流口近くには、サクラマス、アメマス、イワナ、カラフトマスが棲息。

マカロフ

マカロフ近くの川のほとんどでフィッシングができます。主要な河川としては、マカロフ川、ニツイ川、ゴルナヤ川、レースナヤ川、ラソバヤ川、プガチョフカ川などです。



サハリンで設備の整った施設は、州都であるユジノサハリンスクに集中しており、ユジノ市民だけでなくサハリン以外の別の州からも観光客が訪れるようです。ユジノサハリンスクの代表的な施設をご紹介します。

スキー・スノーボード

【ゴールヌイ ボーズドフ (山の空気) スキー場】

日本統治時代からある老舗のスキー場です。6人用リフト、8人用ゴンドラ、スノーボードパーク、レンタルスキー・スノボといった、日本のスキーリゾート地を彷彿させる設備が整うロシア国内でも人気の高いスキー場です。頂上からはユジノ市街地を見渡せ、夏場は展望台としても使われています。詳細は下記 URL をご参照ください。



[URL]<http://ski-gv.ru/> (日本語を選択できます)

スケート場

【アリーナ シティ】

2012年にオープンしたアイスアリーナで、1,800平方mのアイスフィールドと850の観客席、ならびにフィットネスセンター、サウナ、ボクシングジムなども併設された総合スポーツ施設です。

ユジノ中心部から少々離れた空港方面にあり、サハリン州最大級のショッピングモール「シティ モール」に隣接しています。

【クリスタル】

2013年にオープンしたアイスアリーナで、アイスホッケーのアジアリーグ「サハリン」チームの本拠地にもなっています。山の空気スキー場がある山の麓にあります。スケート競技以外の屋内スポーツ競技やコンサートの会場として多目的ホールの側面もあります。



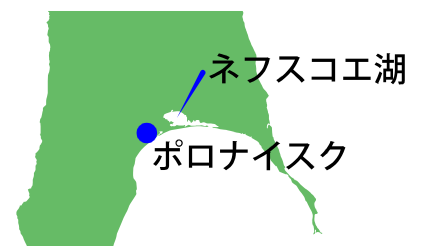
カヌー&カヤック

CANOE & KAYAK



リバーカヌーであれば、サハリン北部からネフスコエ湖の西側を流れ、ポロナイスクにあるテルペニア湾にそそぐ全長約320kmにも及ぶポロナイ川のような大型原始河川などで楽しめます。

(イメージ画像はモネロン島のシーカヤックです)



ハンティング

HUNTING

熊に襲われる被害はサハリンでも毎年報告されており、雪が溶けた4月頃から熊の狩猟が解禁となります。狩猟の時期は春と秋で、同じサハリン州でも地域によって微妙に時期がずれるようです。鳥猟も春と秋が時期で、鴨、菱くい、蝦夷雷鳥などが狙えます。湖沼や沿岸といった湿地に保護対象種が多いので、基本的にそれらを避けたサハリン内陸部の山岳地帯や森林地帯が狩猟対象地域となります。

